

風

(現場)からの

宮田守男

今日は、パチ(8)パチ(8)とそろばんを弾く音から「そろばんの日」だ。文部科学省が定める学習指導要領により小学校のそろばんは、3年生、4年

生が算数の授業で学んでいる。保護者からは「そろばんは計算力の向上だけでない、集中力・忍耐力・処理能力などさまざまな力を身につけさせられる」との声だ。また珠算学校の関係者からは「幼年期の脳が柔らかいうちに、そろばんや数字に触れると、計算に強くなり、数字が好きになり1年生になった時に、算数が得意になる」との効用を示唆している。私も小学生の頃そろばんを学んだが得意な科目では無かった記憶が強いのか、検定試験で何級になった

かも記憶がない。しかし昭和46年に白馬村役場に勤務した当時は、事務計算はそろばんが主流で先輩職員の計算スピードに驚いたことは懐かしい思い出だ。そろばんが日本に伝わったのは1570年代、室町時代の後期か

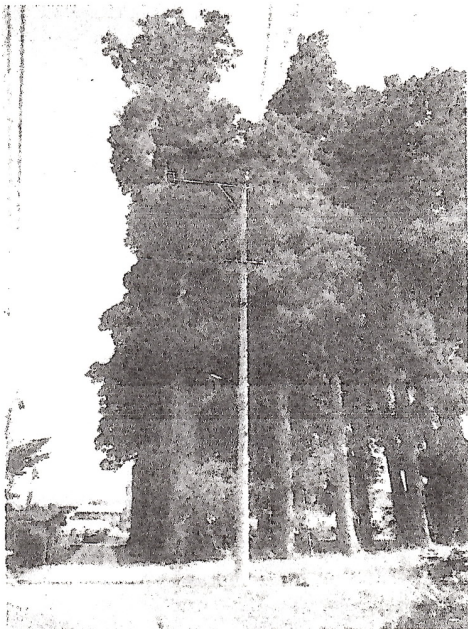
伝えられている。そろばんは武士社会から商工を支える人材を多く輩出した画期的な文明なのかもしれない。日本スポーツ協会が発行するスポーツ活動中の熱中症予防ガイドブックが6年ぶりに改訂になった。熱中症予

防5か条では、暑いとき、無理な運動は事故のもと。急な暑さに要分を取り戻そう。冷やそう、からだの外から内から。体調不良は事故のもと。こうした熱中症予防に関する原則

を心掛けることが大切だ。またスポーツしない場合でも、あくび・肩こり・まぶたのケイレン・体のデキモノ、胃腸の不具合は疲労によって体に表れやすいサインとされるので、自ら意識だけでなく家族や地域の皆さんが温か

く見守る地域風土とあって願ってしまふ。仏教用語で万物をなす地・水・火・風の4元素を「四大種(じだいしゆ)」と言う。まさに列島は「四大種の真ん中」だ。夏の季語「涼し」は、あまりの暑さに涼しく

熱中症予防の知識が求められる



長谷寺創建1391年当時植えられ白馬村天然記念物「老杉群」樹齢は推定635年。長谷寺護持会総会でも存続が話題に。存続の知恵は無いのだろうか

く見守る地域風土とあって願ってしまふ。仏教用語で万物をなす地・水・火・風の4元素を「四大種(じだいしゆ)」と言う。まさに列島は「四大種の真ん中」だ。夏の季語「涼し」は、あまりの暑さに涼しく

あれ、という欲求から生まれた珍しい季語だ。まさに「涼し」から秋の季語「初めて涼し」が今年ほど恋しい夏はないと思う日々が続く。

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)